

地震被害シミュレーション結果の活用について (避難者予測・ライフライン被害編)

平成30年10月に公表した地震被害シミュレーション結果(避難者予測・ライフライン被害編)について、以下のとおり区民へのさらなる周知に取り組むことにより、防災・減災意識の醸成を図るとともに、その結果を踏まえた今後の防災・減災対策と発災に備えた対策の方向性について報告します。

1. 周知の方法

(1) 概要版の配布及びシミュレーション結果の説明

震災救援所運営連絡会や防災まちづくりフェア(31年1月開催予定)等の各種イベントの機会を捉え、概要版を配布するとともに、シミュレーション結果を説明する。また、今後、この結果を震災救援所運営や運営マニュアルに活かせるよう支援するとともに、すぎナビや地震被害想定ARアプリもあわせて周知・活用する。

(2) 地震被害シミュレーションの冊子版の公表及び解説版の配布

避難者予測・ライフライン被害編の冊子版を公表する。また、シミュレーション結果への理解を深めていただくために、自助・共助を支える公助の取組やライフライン事業者の取組などを記載した解説版を作成し、概要版や冊子版に挟み込み配布する。

(3) 広報すぎなみでのコラム記事の連載掲載

シミュレーション結果の理解を深めていただくために、広報すぎなみに自助・共助を支える公助の取組などについてコラム記事を12月より連続4回に渡り掲載する。

2. 今後の防災・減災対策と発災に備えた対策の方向性について

(1) 防災・減災対策について

- ・電気火災の発生を防ぐ感震ブレーカーの設置支援対象地域の拡大
- ・簡易水道消火器具の計画的配布等による初期消火力の向上
- ・在宅避難に必要な物資のあつ旋品目への追加
- ・日常備蓄や在宅避難生活に関するセミナーの開催

(2) 発災に備えた対策について

- ・避難者数に応じた備蓄品の数量の見直しと再配備
- ・震災救援所での避難者受入体制の再確認及び運営マニュアルへの反映
- ・帰宅困難者へ対応するための一時滞在施設の拡充